

事業所名		こどもデイサービス おひさまのくに				支援プログラム				作成日		2025 年		1 月		27 日	
法人（事業所）理念		一人ひとりの個性を認め、その子の可能性を最大限に引き出し未来を支えます。															
支援方針		「おひさまのくに」では、障がいのある子どもたち、一人ひとりの発達に応じた療育・支援をさせていただき、生活能力の向上、社会性を身につけられるようサポートします。また、個性を大切にしながら、楽しく過ごせる場所、心安らぐ場所を提供することを目指していきます。															
営業時間		平日（休業日） 土曜日 9 時 00 分から 17 時 30 分まで						送迎実施の有無		あり なし							
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	○基本的な生活動作の獲得を促す ・衣服の着脱を見守り、排泄を促す呼びかけを行う ・施設内の掃除を自分たちで行うなど、お手伝い活動を取り入れる ・調理実習や食事のマナー指導などの食育を行う ○心身ともに健康な状態で施設に来所し、利用できる環境を整える ・来所時の視診、検温、手洗いを促す呼びかけを行う ・利用者の健康状態について家庭と情報を共有する ・活動の合間に適切な休憩時間を設け、心身ともにリラックスできる環境を提供する															
	運動・感覚	○日常生活で必要となる粗大運動機能の獲得を促す ・屋外や広い体育館での活動を通して、のびのびと体を動かす ・散歩や探索活動を取り入れ、歩行機会を確保する ・ラジオ体操やストレッチを通じて、屋内でも全身運動を行う ○微細運動を通して感覚統合を促す ・工作や絵画活動を通して、手先の運動や運筆の習得を図る ・スライムなどを使った感覚遊びに取り組む ・月1回、外部の卓球教室に参加し、ビジョントレーニングを行う															
	認知・行動	○生活や学習に必要な思考力と概念の理解を支援する ・ICTを活用してプログラミング的思考を学ぶ ・絵カードを用いて、数や大きさ、色などの理解を深める ・自然とのふれあいや読書を通して興味や関心を広げる ○場面に応じた適切な行動の獲得を支援する ・SSTや集団遊びを通じて、マナーやルールを習得する ・スケジュール表やタイマーを活用し、時間の概念を身につける ・非難訓練や交通指導を通じて危険予知の能力を高める															
	言語 コミュニケーション	○自分の体調や感情を言葉で表し、助けを求める力を育む ・絵カードを活用して語彙の獲得を目指す ・しりとりなどの言葉遊びを通じて自発的な発声を促す ・表現遊びを通して、自分の気持ちを表出する力を育む ○他者との意思伝達を円滑に行うための支援を行う ・絵本の読み聞かせを通じて、他者の言葉に耳を傾ける姿勢を身につける ・遊びや活動の選択を通じて、自分で意思決定する力を育む ・指差しや身振り、サインなどの非言語的コミュニケーションを活用する															
	人間関係 社会性	○他者との関わりを通して、相手の気持ちを理解する力を育む ・季節ごとのイベントを計画し、利用者同士の交流の場を設ける ・集団遊びを通じて、順番やルール、物の貸し借りを学ぶ ・親子行事を計画し、家族の交流の場を提供する ○将来、地域社会で生活するための力を身につける ・買い物体験を通じて、金銭感覚や自立心を育む ・外出を通じて、公共の場でのルールやマナーを学ぶ ・外部機関と連携し、地域交流の場を設ける															
家族支援		保護者参観を年に数回行い、お子さんへの支援や発達課題を実際に見ていただくと同時に、家族で楽しめるイベントを計画します。随時、相談援助も行います。						移行支援		身辺自立や生活習慣の確立を目指し、着替えや時間管理などの練習を行います。また、集団遊びやロールプレイを通じて社会性を育て、小学校生活への準備として机上活動や文字の練習にも取り組みます。ライフステージにおける取り組みとして、職場体験や公共交通機関の利用練習を行い、実生活に必要なスキルを育成します。さらに、家庭や学校と連携し、子どもの特性に応じた支援を一貫して提供します。この支援により、子どもたちが次のステップに自信を持って進める基盤を築きます。							
地域支援・地域連携		学校や医療機関、相談支援事業所との情報共有やケース会議を行い、適切な支援体制を構築します。また、地域資源の活用を促進し、家族が利用可能なサービスや団体を紹介します。さらに、地域イベントへの参加を通じて子どもたちが社会とのつながりを体験できる機会を提供します。これらの活動を通じて、支援の場が施設内だけでなく地域全体に広がり、子ども家庭が地域で自立して生活できる基盤を築くことを目指します。						職員の質の向上		事業所内では、定期的な研修を通じて職員が支援技術や知識を深め、実践に活かせるスキルを磨きます。また、外部のデイサービス事業所と連携した合同研修では、他の施設の取り組みや成功事例を学び、互いに知見を共有します。さらに、行政機関を招いた研修会を実施し、法改正や地域資源の最新情報を職員に提供します。これらの取り組みを通じて、職員が子どもや家庭に対し、より専門的かつ質の高い支援を行える体制を整えています。							
主な行事等		散歩、外遊び、卓球、クッキング、季節ごとのイベントの計画・実施、外出先での買い物体験や公共のマナーを学びます。															